



広報もりよし

発行・編集 森吉町役場企画開発課 / 印刷 米内沢中央印刷所

No. 328



見よう見まねで ワラジに挑戦!

— 老人クラブ員と仲睦じく —

米内沢小学校で、2月22日民芸品製作教室が開かれ、お年寄りたちが、児童にワラジの手づくり指導をされた。基本は縄ないからはじめ、片足にワラをはさんで編みあげた縄を基に、ワラジづくりに挑戦。昔の人はよくつくったものだなァーと、出来上がったワラジをはいて飛びはねていた。

昭和60年
3月号

— 町の人口 —
昭和60年2月末現在
住民登録人口

男 4,880 (−1)
女 5,381 (±0)
計 10,261 (−1)
世帯数 2,789 (−1)

▶お礼をかね、あいさつする戸嶋監督



▶町内バレーでの選手たち



▶お礼をかね、あいさつする戸嶋監督

▶町内バレーでの選手たち

三月になると融雪による被害も予想されますので、お互いに十分気をつけましょう。

積雪は湯ノ岱で二四〇センチ、森吉二一〇センチ、前田一五五センチ、米内沢二二八センチ。町では生活道路の確保に除雪車を全出動し、その任務にあたっては、限られた稼働力でも効率よく除排雪を進めるために「道路上に駐車しない」「屋根や

創立四十周年にむけ、さらに活躍を願う」と祝辞をのべられました。それを受けて戸嶋監督が「プレッシャーがあり三連覇は難しいと思ったが、選手たちがよく頑張ってくれた。この感激を忘れず今後はスケートティング走法など研究し精進したい」と選手紹介を兼ね、お礼をまじえてあいさつされました。

会場には、各大会で勝ちとった

今までの福祉は、強い者が弱い者を助ける、いわゆるハンディ分を援助する人たちであったが、今は老人、大人、子供、身障者たちも互いに助け合い、心を入れて地域社会に参加してきている。また「子供に対しては、ゆったりとした気持ちや思いやりの心が失われてきているので、自然の中で育ててほしい」「家の中で遊んでいるが五十%以上で、抵抗力の弱い子供に育つのではないか」「物が豊富で何でもすぐ手に入る時代で、耐



森吉町は、五十九年度から三カ年間、県社協協の「福祉教育推進事業」の指定を受け、毎年このような行事を行っています。

開会のあいさつに続いて、船木政雄県社会福祉協議会事務局長が「豊かな心を育てる福祉教育」と題して講演されました。

そのためには、子どもを非難する前に、家族みんなで話し合っ

真黒に雪焼けた八人の選手は大きな拍手に迎えられて入場。はじめに北林照助後援会長は、「全国大会の優勝の瞬間を見たが、激戦の末の三連覇で感激であった。今回の成績に安心することなくトレーニングに励み、四連覇にむけ頑張っしてほしい」とあいさつ。

このあと近藤町長が「教える監督と教えられる選手の情熱に対し感謝申し上げますとともに、米高

全国高校スキー大会の女子リレー三連覇など数々の輝かしい成績を残した米内沢高校女子スキー部の優勝祝賀会が、三月一日農協ホールで盛大に行われました。

米内沢高校女子スキー

第二回森吉町青少年福祉会議が三日、前田公民館で開かれ、住民百五十人が出席、「健やかな青少年を育てるために、いま家庭では何をすべきか」をテーマに、講演や分散会を通して熱心に話し合われました。

森吉町は、五十九年度から三カ年間、県社協協の「福祉教育推進事業」の指定を受け、毎年このような行事を行っています。

の上下がなく、想像力、社会性、冒険性などがなくなってきた」「今の子供は理屈として色々なものを知っているが、体験を通じた豊かな心は無比に等しい」

そのためには、子どもを非難する前に、家族みんなで話し合っ

熱心に勉強

土地の所有者と立ち合いのもとで境界に杭を打っていただくこととなります。

調査対象者名

●2月の成績●

▼第34回全国高校スキー大会(福島県猪苗代) 女子10名 上位に

スキー場(岩手県)を視察

国土計画による森吉山大型スキー場が昭和六十一年冬にオープンされる予定であり、宿泊施設の整備が町の課題となつてい

スキー場より車で十分たらずの上長山地域十九軒の民宿をたずねた。一行は「清杉荘」に泊めていただき、ご主人より夜遅くまで民宿経営のノウハウをひもどいてもらった。それによると①最初から民宿専門にしないこと②家族で出来る程度の民宿規模にすること③一人でも二人でも初めて来たお客様を大事にすること、など長年の経験から素直にアドバイスしてくださり、希望者にとっては大変参考となられ、今までの不安が吹き飛ばされた感じであった。

説明を受ける希望者たち

昭和43年より実施してきました地籍調査は、町民の協力と理解のもとに順調に進められています。

今年、桐内沢地区を調査することになりました。

地籍調査は、最新の測量技術で皆さんの土地の正しい位置、面積、境界、地番などを明らかにし、あなたの土地を守る大切な調査です。

また、その結果は登記簿や登記所の地図を新しくするのに使われます。

雪石スキー場では、中沢営業課長代理よりスキー場の施設、スキーヤーの入込状況など詳しく説明され、熱心に耳を傾けてメモをとっていた。スキー場は五十五年十二月にオープンし、百一人乗りロープウェイ、六人乗りゴンドラ、ロマンスリフト、レストランなどの施設からなっており、規模の大小は別として森吉山大型スキー場に計画されている施設とほぼ同様のようであった。入込数は昨シーズンで三十万人を越え、今シーズ

熱心に勉強

スキー場より車で十分たらずの上長山地域十九軒の民宿をたずねた。一行は「清杉荘」に泊めていただき、ご主人より夜遅くまで民宿経営のノウハウをひもどいてもらった。それによると①最初から民宿専門にしないこと②家族で出来る程度の民宿規模にすること③一人でも二人でも初めて来たお客様を大事にすること、など長年の経験から素直にアドバイスしてくださり、希望者にとっては大変参考となられ、今までの不安が吹き飛ばされた感じであった。

説明を受ける希望者たち

地籍調査に
ご協力ください

桐内沢地区

雪石スキー場では、中沢営業課長代理よりスキー場の施設、スキーヤーの入込状況など詳しく説明され、熱心に耳を傾けてメモをとっていた。スキー場は五十五年十二月にオープンし、百一人乗りロープウェイ、六人乗りゴンドラ、ロマンスリフト、レストランなどの施設からなっており、規模の大小は別として森吉山大型スキー場に計画されている施設とほぼ同様のようであった。入込数は昨シーズンで三十万人を越え、今シーズ

熱心に勉強

スキー場より車で十分たらずの上長山地域十九軒の民宿をたずねた。一行は「清杉荘」に泊めていただき、ご主人より夜遅くまで民宿経営のノウハウをひもどいてもらった。それによると①最初から民宿専門にしないこと②家族で出来る程度の民宿規模にすること③一人でも二人でも初めて来たお客様を大事にすること、など長年の経験から素直にアドバイスしてくださり、希望者にとっては大変参考となられ、今までの不安が吹き飛ばされた感じであった。

説明を受ける希望者たち

積雪は湯ノ岱で二四〇センチ、森吉二一〇センチ、前田一五五センチ、米内沢二二八センチ。町では生活道路の確保に除雪車を全出動し、その任務にあたっては、限られた稼働力でも効率よく除排雪を進めるために「道路上に駐車しない」「屋根や

雪石スキー場では、中沢営業課長代理よりスキー場の施設、スキーヤーの入込状況など詳しく説明され、熱心に耳を傾けてメモをとっていた。スキー場は五十五年十二月にオープンし、百一人乗りロープウェイ、六人乗りゴンドラ、ロマンスリフト、レストランなどの施設からなっており、規模の大小は別として森吉山大型スキー場に計画されている施設とほぼ同様のようであった。入込数は昨シーズンで三十万人を越え、今シーズ

熱心に勉強

スキー場より車で十分たらずの上長山地域十九軒の民宿をたずねた。一行は「清杉荘」に泊めていただき、ご主人より夜遅くまで民宿経営のノウハウをひもどいてもらった。それによると①最初から民宿専門にしないこと②家族で出来る程度の民宿規模にすること③一人でも二人でも初めて来たお客様を大事にすること、など長年の経験から素直にアドバイスしてくださり、希望者にとっては大変参考となられ、今までの不安が吹き飛ばされた感じであった。

説明を受ける希望者たち

三月になると融雪による被害も予想されますので、お互いに十分気をつけましょう。

雪石スキー場では、中沢営業課長代理よりスキー場の施設、スキーヤーの入込状況など詳しく説明され、熱心に耳を傾けてメモをとっていた。スキー場は五十五年十二月にオープンし、百一人乗りロープウェイ、六人乗りゴンドラ、ロマンスリフト、レストランなどの施設からなっており、規模の大小は別として森吉山大型スキー場に計画されている施設とほぼ同様のようであった。入込数は昨シーズンで三十万人を越え、今シーズ

熱心に勉強

スキー場より車で十分たらずの上長山地域十九軒の民宿をたずねた。一行は「清杉荘」に泊めていただき、ご主人より夜遅くまで民宿経営のノウハウをひもどいてもらった。それによると①最初から民宿専門にしないこと②家族で出来る程度の民宿規模にすること③一人でも二人でも初めて来たお客様を大事にすること、など長年の経験から素直にアドバイスしてくださり、希望者にとっては大変参考となられ、今までの不安が吹き飛ばされた感じであった。

説明を受ける希望者たち

説明を受ける希望者たち



保健だより

今回は、以外に悩んでいる人が多い、神経痛と痔について。

神経痛と痔

健康相談の場で一番多い訴えが神経痛です。これは老令と共に多くなつてきますが、太っている人には膝の痛みが特にあります。神経痛というものは、病名ではなく、症状の一つです。専門医によると……。

①痛みが特定の神経支配領域にあること②発作性、反復性に痛みがでること③自覚症状だけで他覚所見がないこと④病理学的に神経そのものに異常所見ないこと。

以上の条件を満たすとき神経痛といふことになっていますが、多くは①だけで神経痛といっています。神経痛の治療

神経痛にも原因があるので、医師にみてもらつて治療することが大事です。

●痛みを軽くするために……薬物療法↓内服や外用薬。理学療法↓温泉療法、索引療法。手術的療法↓神経ブロック。神経痛の予防として、冷えない、太らない、姿勢を良くする、バランスよくたべるなどがけましょ

痔とくすり

寒いと特に痔に悩む人が多くあります。痔には、いぼ痔、きれ痔、痔ろうなどあり、日本人には特にいぼ痔が多いようです。

いぼ痔

原因は、便秘、立ち仕事の人、肉類の食べすぎ、アルコール、タバコのとりにすぎ、肛門部の不潔などで、初めは無症状のこと多い。

きれ痔

固くて大きな便をしたとき、肛門上皮が裂けておこる。

痔ろう

肛門の近くの皮膚や粘膜に穴があき、膿汁を出している状態をいう。

痔の治療

入浴↓血行が良くなり、腫れがひけ、刺激になる汚れもおちる。

便秘をしない↓水分を多くとり繊維の多い食物をとる。消化よすぎるものはかえって便秘する。

(うどん、おかゆ、もち、卵、パンなど)

●薬物療法↓外用の坐薬、軟こう、内服薬などがある。

手術的療法などあります。

日常の注意

肛門にうっ血をきたすような運

年金 納め忘れていいませんか保険料

国民年金の保険料は納めていすか、もう一度納付書を確認し、もし納め忘れがあればすぐ納めましょう。

保険料を長く納めないでいると、一度に多額の出資を強いられることになり、ますます納めにくくなります。

国民年金の各種給付を受けるための条件はいろいろありますが、保険料納付要件の一番短いものは「最近一年間の保険料をすべて納めていること」というのがあります。

不慮の事故などで不幸にして障害者や母子状態になったときに、過去一年間の保険料が納まっているかどうか判断のひとつとなりますので、毎月キチンと納め続けることが大切です。そういう地道な努力が、やがて老齢年金受給という大きな実になるのです。失業したり、病気などの事情で一時的に所得がなくなったり、少



くなくなったりして保険料をどうしても納められない方には、一定の手続きをすれば、保険料の納付が免除される特別な制度があります。(強制加入の期間のみ)

納めるのが容易でないときには未納のままにしないで免除制度を利用することもよいでしょう。

今月は五十九年度最後の納付月となっておりますので納め忘れのないようご注意ください。

動(すもう、野球の補手)、自転車、長時間のドライブ、マージャンはよくありません。トイレも洋式で、肛門の血行をよくする運動

①大きく息を吸い、ゆっくり十分に息を吐き終ったところで肛門にギョと力を入れる②次に息を吸いながら肛門の力を抜く。この運動を毎日十回ぐらいくらいかえします。

地団太を踏む

入試や就職がうまくいけば大喜びですが、失敗して「地団太(駄)を踏む」人も少なくありません。この「地団太を踏む」は、ひどくくやしかったり、腹を立てたときに使う表現で「地団太を踏む」からきたとされます。「地団太」は「踏む」を作るときなどに用いる大型のふいごのこと。足で踏んで空気を送る装置です。

とば

送って日本刀などを作るものです。「たたらを踏む」はその足の動作から、強く突いたり打ったりしたときに目標がはずれ、勢いあまって空足を踏むこともさすようになります。

そして、「地団太を踏む」は怒ったり残念がって、地面を両足で激しく踏みつけること。その様子が「たたらを踏む」と似ていたからです。

その、「地団太を踏む」から「地だだを踏む」に変わり、やがて今使われている「地だんだを踏む」に落ち着いたというわけなんです。

みづかな歴史 (36)

古ぼけたのし紙

戊辰戦役余話

郷土の一角で流血をみた戊辰の役から数えて一八八年になる。

戊辰の役と郷土の関係については、本町小又沢東方の一部が、南部との藩境に接しており、比内方面へ通じる幾条かの峠道もあるなど南部と近接していたこと、一方米内沢地区は、放射線状にのびる主要路の要衝に位置している関係などから、内戦という衝動的な事態への進展に郷土全域が、緊迫した空気に包まれたことはいままでもない。このことについては、庄司隼風(兵之助、郡方御用係、當時下筋小荷駄方与力)の日記に詳しいが、農兵の出陣も多く、軍需品の搬送、婦女子の疎開などもあった。

今でも話題になる米内沢・石坂辺での、南部方斥候徳太郎、三次郎(南部側の資料、遺烈余芳によれば己之助、佐次郎)の梟首。小又沢奥部では十二所口での戦開開始(慶応四年八月九日)後間もなく、砂子沢峠をはじめ間道に至るまで大木を伐り倒し、岩石を並べ、穴を掘って閉鎖してしまつたが、彼我の斥候の潜行、連絡のための飛脚のひんばんな往来、撤退した十二所隊家族の避難(一時八幡森



大事にされていた貴重なのし紙

たとえば隼風の日記にある砂子沢防衛の出陣者名簿にもその名前が入っていないし、当時の郡奉行小野崎藤四郎が書いた撰入、農兵の功積上申書(工藤文書)にも見あたらない。これは定吉が、速来の筑州隊(福岡藩)に所属していたためだろう。

筑州隊と定吉のつながりについては、奥羽鎮撫副総督沢三三郎が、角館から大覚野越えて阿仁に入り

前田で一泊(宿舎は庄司宗家、随行の新庄候(山形)は肝煎与七郎宅、護衛隊は兵五郎宅。翌日同じコースで戸沢大学(新庄候の実弟)の一行、更にその翌十八日には筑州軍監十時伝治郎の一行が前田で昼食をとっている。その時十時は、首に銃創を負っていたという。

筑州隊としても、土地不案内のことであつたらうし、負傷者がおれば人手も必要だつたはず。定吉が筑州隊に籍を置くに至つた事情はこのへんにあつたのではないだ

田舎の話題

おりこうな山ウサギ

私は山ウサギ。生まれてまもなく白坂の田崎正二さんに拾われ、親も知らないうちに田崎家の養子となる。

自然と人間社会の環境はあまりにも違い、金網の中の食生活にも馴染めず逃げることを計画。肌寒い日だったがうまく逃げ、冬山のくぼみの中で一夜を過ごす。

その頃、家では逃げたの気付き食べればよかったと腹グーグー。月夜をながめながら山ウサギは考え込む。私も生きもの、今まで育ててくれた親(正二さん)の恩が忘れられず、山を捨て永住することを心に誓い帰宅した。それ以後は、昼は自然いっばい



清水孔次郎

思召候依之今般御巡幸之際特旨ヲ以祭薬料トシテ目録之通下賜候事
明治十四年十月 秋田県 目録 金五円
一世紀を越えたこの古ぼけた一枚のし紙には、遺族の鎮魂の祈りと、歴史の証言がにじみでており今なお、確実に息づいているのである。(故人敬称略)

かわいいそうだった夏みのこと

七月三十一日の朝、ぼくがべん強をしていると、ジリジリ、ジリリとでんわがなりました。いそいでじゅわきをとると、「ほいくしよです。夏みちゃん、手足口びようですから、すぐむかえに来てください」といわれました。うちには、だれもいません。ぼくは、なきたくなりました。でも、夏みが、ほいくしよでぼくをまつているので、早く行かなければなりません。だから、うら田ばしまで、はしっていききました。やっ、つきました。なるみ先生は、「すぐびよういんにつれて行ってね。そして、なおるまで休んでください。よその子にうつるといけないからね」と、いいました。夏みは、少し赤いおをして、げんかんでまつていました。ぼくが、げんかんでまつていまして、ぼくが、ぼくの手をしっかりとつかんではいません。ぼくは、手をつないでかえりました。

第8回 日本標準教育賞

児童作文 優秀1位



浦田小2年 片岡洋一君

きました。ぼくは、はしってげんかんに行きました。「ばあさん。夏み、どうだった」と聞くと、「びよういんさ、手足口びようの子どもが何人もいたけど、夏みが、一ばんかかった」といいました。そして、夏みの口の中に、むらさき色のくすりをつきました。夏みは、大きく口をあけながら、ぼくのかおを見て、目だけでわらっています。ぼくも、すこしらいました。くすりをつけおわった時、おばあさんが、「夏ちゃん、こんばん、にいさんたちと、プールさいけないよ」といいました。すると、夏みは、「いやだ。いやだ。プールさ行き

たい。行くんだ。行くんだよう」といって、上をむいて、なみだをいっばいながしました。きょうのばんは、ずつとまえから、ぼくたち、二年生が、うちの人のいっしよに、たかのすのプールへ行くことになっていました。ぼくのうちは、夏みもいっしよにつれていくことにきめていたのです。だから夏みは、もう、けさから、はしやいでとて、たのしみにしていたのです。それなのに、行けなくなってしまったのです。夏みは、どうしていいかわからないほど、いつまでも、ないています。おばあさんが、みせから、アイスクリームをかってきました。ぼくは、つくえの中にだいいじにして、しまつていた花火を十本もつてきて、夏みにあげました。アイスクリームと、花火をりよう手にもつた夏みは、やっとなきやんで、少し元気がなりました。ぼくは、「よかつたな」と思いました。

暖かいはげまし

—ロータリークラブ—

ロータリークラブ米内沢支部では、恒例の事業として寝たきり老人の巡回訪問をしています。2月17日、下山医師をはじめ会員の方々が5人の老人宅を訪れ、血圧測定などいろいろと診察をして健康にはくれぐれも注意してくださいと声をかけ、みやげを手渡して激励しました。

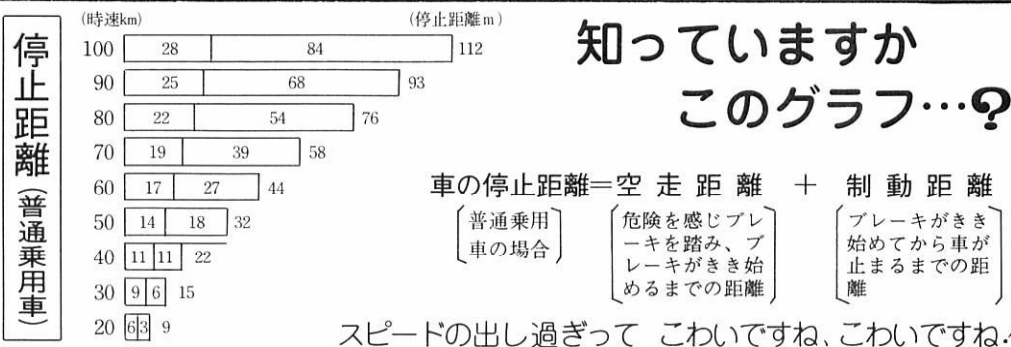


カメラさんぼ

がまんしているようです。ぼくたちがでかけるじゅんぴをはじめる夏みが、じいさんのところへ行きました。そして、じいさんのひざにかおをつけて、またなきました。「よし、よし、なくな。子供かものがり見たら、すぐ、花火を上げような」と、じいさんがいつたら、なきやみました。ぼくたちが、バスにのつて、大ぶちのほうへまがつた時、いえのまえで、夏みと、ばあさんが、手をふつていのが見えました。「ああ、かわいそうだ。ぼくもあんまりおもしろくないな」と思いました。たかのすのプールで、みんな、たのしくおよいでいるうちに、夏

ちゃんのことを、わすれていました。ラーメンをたべて、九時ごろいえについたら、夏みは、もう、ねむっていました。ぼくが、小さい声で、「夏ちゃん。ただいま」といつたら、すぐ、とびおきました。先生からもらったかん入りのドロップを、そのままつたら、かんをガラガラとならしてよろこびました。それから、ふたをあけて、ピンクのドロップを口に入れました。そして、ぼくには、オレンジ色のドロップをくれました。「るいみちゃんも、ともくんもきて、花火をやったよ。とつても、おもしろかつたよ」。夏みは、元気に花火のことを話してくれました。ぼくは、あん心して、ドロップをかじりました。

知っていますか このグラフ…?



区分	59年			58年			増減		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
全 国	518,642	9,262	644,321	526,362	9,520	654,822	△ 7,720	△ 258	△ 10,501
東 北	36,867	726	44,862	38,367	739	46,824	△ 1,499	△ 13	△ 1,960
秋 田 県	3,546	78	4,422	3,573	79	4,430	△ 27	△ 1	△ 8
阿 仁 部	51	2	57	52	4	63	△ 1	△ 2	△ 6
米内沢地区	13		15	9	2	12	4	△ 2	3
前 田 地 区	7	1	9	7		7		1	2

交通事故発生状況

スローガン

- ◆ 運転者に対するもの
- ◆ シートベルト いつも乗るたび 乗せるたび
- ◆ 歩行者、自転車利用者に対するもの
- ◆ まがり角 とまる習慣 待つしつけ
- ◆ 子どもに対するもの
- ◆ とび出しは ぼくも車も どっきんこ

非行防止は家庭から

少年非行の原因をさぐると、家庭のどこかにちょっとしたスキ間があいています。お父さん、お母さん、うちの子に限って、とお考えでしょうが、時々チェックしてみてください。

厳しさも、愛。—
お父さんも、頼みますよ。



- 1 子供を放任しない… 子供を育てる責任の自覚を
- 2 親子の対話を忘れないように… 子供への理解を
- 3 子供に善悪のけじめをつけさせる事を忘れないように… 生活の基本マナーを
- 4 二つ叱ったら三つほめる心がけを忘れないように… いつも励ましと暖かさを
- 5 ポルノ雑誌等を家庭に持ちこまないように… 若いエネルギーを正しい方向に

報 漢 字

チャレンジ コーナー (5)

コンピュータは、**すう**ち 計算や事務処理は **とく**い ですが、人間のよう **ふく**ざつ な状況を自ら **はん**だんし、**かい**けつしていく能力には **げん**かいがあるため、今後の高度化・**た**よう化する **じ**よう **ほう**しよ **り** ニーズに対し、十分な対応が **でき**なくなる **こ**が **よ** **そ**う **さ**れます。このため、問題を **と**く、**す**い **り** する、**ご**言葉 **を**話 **し** **り** **かい**する、などの知識の **う** **を**持ち、**じ**ゆう **らい**とは **ご**ん **ぼ**ん **的**に **こ**なる技術方式を **もち**いた **こ**ンピュータの開発が **ま**たれます。

3月27日 (水)

愛の献血にご協力を!!

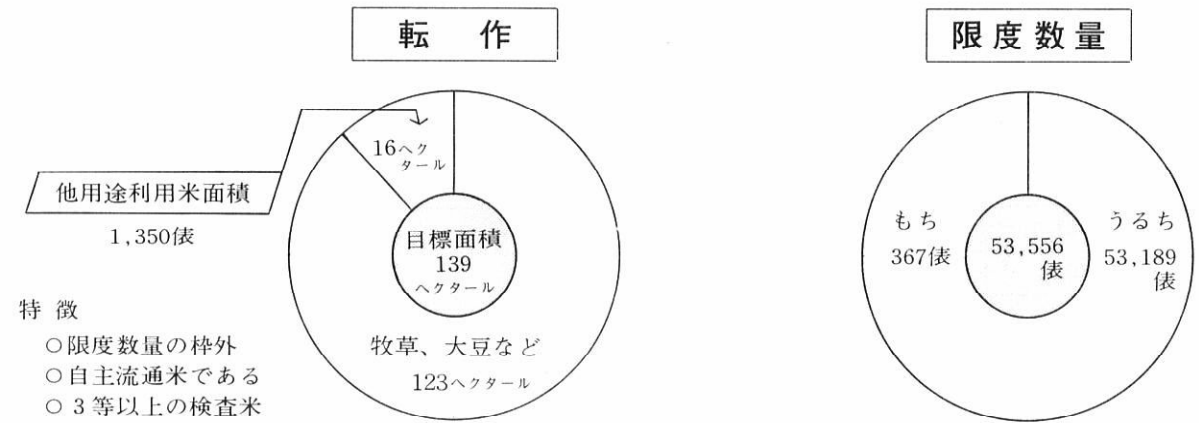
午前9時〜10時20分まで
コミュニティセンター前
午前10時30分〜11時20分まで
米内沢ハリマヤ工場前
に愛の献車が巡回しますので、皆様の暖かいご協力をお願い申し上げます。

2月号答

絶対、急務、消費、被害、価値、蓄財、手段
悪質、知識、乏、狙、勸、揚、句、果、大損

昭和60年度目標面積及び売渡限度数量

区 分		第2期(56~58年)	第3期(59~61年)	60 年 度
目 標 面 積		172 ha	145 ha	139 ha
売 渡 限度数量	うるち	50,167 俵	52,629 俵	53,189 俵
	もち	367 俵	367 俵	367 俵
他用途利用米		0 俵	1,173 俵	1,350 俵



特徴
 ○限度数量の枠外
 ○自主流通米である
 ○3等以上の検査米

昭和60年度配分方針

- ① 転作目標面積……第3期対策(59~61年)配分方法を調整して配分する。
- ② 他用途利用米……青刈稲、未達成面積を勘案して配分する。
- ③ 限度数量の内示……昭和59年度の配分方法を調整して配分する。
(政府米)
- ④ 青刈稲の解消……県の方針に沿って転作奨励金の対象外とする。
(他用途利用米の増枠要因となるため)

◎ 昭和60年度転作等実施計画書

(集落内の転作推進員を経て役場へ提出して下さい)

◎ 経営耕地面積(田)異動申出書

(60年度新たに耕地の異動がある人(貸借、宅地、砂利採取など)期限厳守)

◎ 他用途利用米出荷内訳表

提出期限 **3月20日**

詳しいことは
役場農林課農政係まで
(〒72-3111内線16)

昭和59年度水田利用再編対策の実施状況

1. 転作実施面積

森吉町目標面積 …………… 145ha
 (うち他用途利用米生産面積 13.83ha)
 転作実施面積 …………… 135.4ha
 他用途利用米面積 …………… 15.8ha
 計 …………… 151.2ha
 目標達成率 104% (県全体 103%)

2. 転作作物別面積(構成比)

(単位 ha.%)

面積	作物名	特 定 作 物			永 年 作 物		一 般 作 物 等				合 計	
		大豆	飼料作物	ソバ	小計	果樹	小計	野菜	小豆	その他		小計
59年実績		39.6	63.0	3.5	106.1	1.9	1.9	8.2	11.0	8.2	27.4	135.4
	構成比	30	47	2	79	1	1	6	8	6	20	100.0
58年実績		44.6	77.6	5.9	128.1	1.3	1.3	8.0	9.9	6.3	24.2	153.6
	構成比	29	51	4	84	-	-	5	7	4	16	100.0

3. 転作作物に伴う奨励金及び面積

(単位 a.円)

区 分	面 積	転 作 奨 励 金	
基 本 額	特 定 作 物	1 0,6 1 2.1	46,6 9 3,2 4 0
	永 年 性 作 物	1 8 5.9	9 6 6,6 8 0
	野 菜	8 2 8.5	1,9 8 8,4 0 0
	そ の 他 一 般 作 物	1,9 1 2.9	5,5 4 7,4 1 0
第 一 種 加 算	1,3 9 2.6	2,7 6 8,3 0 0	
第 二 種 加 算	1,9 4 3.5	1,9 4 3,5 0 0	
計	1 3,5 3 9.4	5 9,9 0 7,5 3 0	

昭和59年産米出荷状況 (60年1月末現在)

種 類	限 度 数 量	超 過 米	計	58年産実績
う る ち	52,629 俵	8,425 俵	61,054 俵	56,027 俵
も ち	367	△ 28	339	341
計	52,996	8,397	61,393	56,368

農家のみなさん!!

現在、農地流動化促進の強調月間を推進中です。

農用地利用増進事業は、安心して農地の貸し借りができる制度です。



農地流動化推進員

集落ぐるみで農用地の有効利用を進めましょう

農用地利用増進事業は、農用地の貸し借りなどを、農地法によらないで、市町村が農家の申し出により権利の設定・移転の計画をまとめた「農用地利用増進計画」を作成し、農業委員会の決定を経て公告することにより、安心して農用地の貸し借りなどができる事業です。貸し借りが終われば農地は自動的に返還されますし、離作料等の心配はありません。

現在、地域農業集団活動などによって、地域ぐるみで農地の有効利用を促進する話し合いが進められていますが、安心して農用地利用増進事業を活用して、地域農業の見直し、活力ある村づくりを進めてみませんか…。

貸し手農家には農地流動化奨励金がでます!

(注) 農用地高度利用促進事業の前期対策と後期対策では奨励金額が異なりますので注意して下さい。

3年～6年未満は

8千円

6年～10年未満は

2万円

10年以上は

3万円

*いずれも10a当りの金額です

農地の貸し借り、売買等のことは農業委員・農地流動化推進員にご相談下さい。

森吉町・森吉町農業委員会

昭和60年度他用途利用米配分明細表

他用途利用米について

- ① 計画書 …… 生産者は実施計画書に、面積及び俵数を記入する。
- ② 出荷契約 …… 生産者は集荷団体（農協）と政府米と同様に、生産出荷契約を締結する。
- ③ 検査・確認 …… 他用途米の生産については、ほ場における現地確認は行わないこととし、出荷段階（検査は60キロ単位）で数量を確認し、これを面積換算する。
- ④ 達成の要件 …… 転作目標面積の「達成、未達成」は他用途米と一般転作（牧草、大豆など）を併せた合計面積により達成したかどうか判定する。

(単位、キロ、俵、a)

部落名	共済反収	俵数	面積	部落名	共済反収	俵数	面積
平田	461	3	4.1	八幡森	530	29	33.8
湯ノ岱	453	3	4.2	通り町	506	21	25.5
女木内	479	9	11.8	桂坂	508	20	24.5
小滝	485	26	33.2	惣内	520	32	38.0
深渡	493	9	11.4	上羽立	519	7	8.4
碓渕	478	3	4.0	下羽立	493	10	12.7
鷺ノ瀬	495	8	10.1	桂瀬	536	52	60.1
森吉	485	34	43.4	浦田	534	91	103.4
惣瀬	446	24	33.6	寄延	530	47	53.9
向様田	505	14	17.3	大渕	556	27	29.4
様田	475	26	34.0	白坂	507	38	45.5
桐内沢	412	5	7.7	根小屋	527	53	60.6
桐内	493	18	22.6	日栄・松栄	472	14	17.9
根森田	494	34	42.7	長野	496	27	32.8
堺田	520	24	28.8	中新田	488	23	28.4
巻渕	508	14	17.2	大沢	489	30	37.0
細越	505	13	16.0	鶴田	511	52	61.7
羽根川	519	9	10.6	向本城	549	63	69.7
平里	522	18	21.3	新丁	540	18	20.3
新屋布	520	31	36.8	大町	545	26	28.8
小又	517	30	36.2	新町	520	26	30.4
冷水	504	23	28.5	長下・滝ノ沢	475	7	9.0
五味堀	538	59	68.3	本城上	546	13	14.4
柏木岱	528	11	13.0	〃下	566	39	41.5
大岱	531	37	43.1	〃荒町	568	35	37.3
神成	499	19	23.7	〃町屋	548	36	39.8
下前田	539	10	11.6	合計		1,350	1,600.0



町有(土地・建物)処分

次のとおり処分しますので、ご希望の方は申し込みください。

- 土地の所在及び区画面積
- 森吉町小又字下川原144
土地面積120・17㎡(36・35坪)
- 森吉町桂瀬字沢田4の10
土地面積100㎡(30・25坪)
- 森吉町米内沢字黒沢19の8
土地面積264・99㎡(80・15坪)
建物面積100㎡(30・25坪)
- ▼申し込み期間
●3月20日(水)から25日(月)まで
- ▼申し込み先
●役場建設課管財係

従業員募集

国民宿舎 森吉山荘

- ▼職種、事務員兼応接員
- ▼人員 女性2名(年令問わず)
- ▼バ切 4月10日(履歴書持参)
- ▼申込 森吉町役場企画開発課
- ▼商工観光係 ☎(72)3111

申込みは 3月20日まで

農林課係

昭和60年度より第二次森林総合整備事業がスタートします。

町では、今後5カ年間の事業申込みを受け付けましたが、まだ申込みされていない方がありましたら3月20日(水)まで農林課係へ申込みください。
新植、下刈、除間伐、枝打ち等補助金を利用した森林の手入れをお進めします。

奨学生を募集

教育委員会では昭和39年度に育英資金貸付制度を設けて高校生、大学生を対象に貸付を行っております。

この制度は学業成績が優秀で品行方正であること、また経済的理由により就学困難な人に学業資金を貸与するものであります。

森吉町民であつて高校又は大学

に在学するもの。

●貸付け額
高校生(高専含む)が1カ月1万円、大学生(短大、専修校を含む)が1万5千円。募集人員は7人以内。

●貸付条件及び期間
無利子。当該学校の正規の修業年限以内。

●償還期限
学校を卒業後6カ月を経過してから5カ年以内に月賦、半年賦、年賦いずれかの方法による(繰上げ償還も可)

●貸与の決定
育英資金貸付審査会の意見をきいて教育委員会が適当と認めたと者

●申し込み方法
教育委員会備え付けの用紙に記入し、これに戸籍抄本、身上書、在学証明書、成績証明書、住民票、入学、(合格)通知の写しなどを添えて4月15日までに町教委事務局へ提出して下さい。
なお、貸付けをしている奨学生は3月1日現在で高校生5人、高専生1人、大学2人の計8人となっている。

募集 貸付牛借受希望者 高齢者等肉用牛飼育事業

- ▼貸付対象者 満60才以上で、肉用牛飼養経験を有する者。
- ▼貸付頭数 19頭(1人2頭以内)
- ▼貸付期間 5年間
- ▼償還方法 満5年後購入相当額

を償還(無利子)

▼申し込み期日 60年3月30日
申し込みは役場農林課畜産係まで。(申し込み用紙は農林課にあります)



お誕生 おめでとう



武石 隼人(秋男・長男) 根小屋
九島 麗未(均・二女) 向本城
石崎 未菜(政美・長女) 寄延
金 敏正(祥晶・二男) 向本城
武石詩穂子(和士・長女) 根小屋
岸野恵利子(佐中司・長女) 五味堀
土佐 隼(広志・二男) 桐内沢
岸野 純子(隆文・長女) 五味堀
春日 直仁(直英・長男) 五味堀

新 織 佐 細 柳 北 佐 齊
林 山 藤 田 山 林 藤 藤
ヨ キ 助 助 八十 カ ン
実 (83才) 助 (82才) 治 (75才) ネ (85才) さ
(28才) 小 根 前 浦 大 本 川
小 根 前 浦 大 本 川
滝 田 町 田 町 城 向

おくやみ



香典返し

冷 水 石川喜代美
新 屋 布 森川 孝一
学 校 通 松橋 健一
本 城 佐藤 健作
大 町 北林 進

福祉のカサをどうぞ

福祉協議会では、公立米内沢病院、近藤医院、前田診療所、図書館、公民館、阿仁前田駅などの公共施設に「福祉のカサ」を備えつけてきましたので気軽にご利用ください。また、利用後は忘れずに各施設へお返しください。

